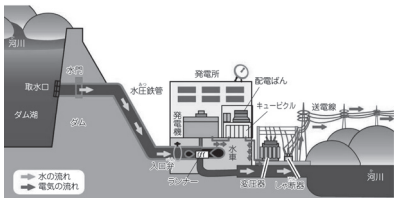


令和5年度 第6号 小学校高学年版

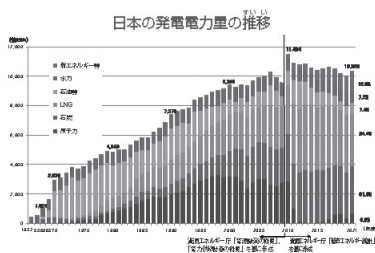
未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～
再生可能エネルギー「水力発電」

年 組 名前

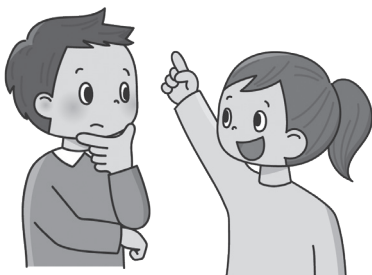
①水力発電について調べましょう。



②「日本の発電電力量の推移」のグラフから、水力発電がしめる割合はどう推移しているのか、考えましょう。



③水力発電の発電電力量を高めるために、小水力発電をどのようなところに設置できるか考えましょう。



カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

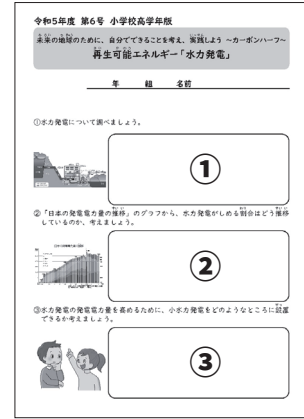
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介しします。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～ 再生可能エネルギー「水力発電」

①表題



②ねらい

- ・水力発電は、再生可能エネルギーによる発電の一つであることを理解する。
- ・水力発電は、温室効果ガスをほとんど出さないことを知る。
- ・小水力発電について知る。
- ・小水力発電をどのように使うかなど、自分たちが参加できる温室効果ガス削減の取組について考え、実践しようとする意欲をもつ。

③本教材で扱う 主な内容

再生可能エネルギーの一つである水力発電が果たす役割、ダム の役割、生活の中の水、水力発電と温室効果ガスの関係、日本の発電電力量の推移、東京都の水力発電の取組、自分たちにできる温室効果ガス削減の取組

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○ 掲示用教材①を見て、水力発電について知る。 ○ 水力発電について調べる。	○ 水力は再生可能エネルギーの一つであること、水力発電は、温室効果ガスをほとんど出さないことを説明する。 ○ 水力発電について調べさせる。	◆ 掲示用教材① ◆ ワークシート① ◆ 水力発電の二酸化炭素排出量は建設・補修時に発生するものが全てで、運転中は二酸化炭素を排出しません（中学校・高等学校版に掲載）。
○ 掲示用教材②を見て、水力発電の発電電力量の割合の推移を考える。	○ 1960年中頃までは、水力発電が日本の発電電力量の大半を担っていたことを説明する。 ○ 日本の水力発電の発電量の推移やその割合の推移など、気が付いたことや思ったこと発表させる。	◆ 掲示用教材② ◆ ワークシート②
○ 掲示用教材③を基に、小水力発電について知る。	○ 小水力発電について説明する。	◆ 掲示用教材③ ■ 資源エネルギー庁 なっとく！再生可能エネルギー
○ 掲示用教材④を見て、小水力発電の設置場所を考える。	○ 水力発電の発電量を高めるために、小水力発電の設置場所について、身近な場所をふまえて考えさせる。	◆ 掲示用教材④ ◆ ワークシート③ ■ 環境局 「わが家の環境局長」事業 ■ 東京都教育庁 カーボンハーフスタイルチャレンジ

